



平成 21 年 11 月 2 日

各 位

上 場 会 社 名 広島電鉄株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大田 哲哉
 (コード番号 9033 東証第2部)
 問合先責任者 常務取締役M・カンパニープレジデント
 椋田 昌夫
 TEL(082)242-3542

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 21 年 4 月 1 日 ~ 平 成 21 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|-------|-------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 18,710 | 910 | 590 | 300 | 4.94 |
| 今回発表予想(B) | 17,966 | 632 | 340 | 109 | 1.80 |
| 増減額(B-A) | △743 | △277 | △249 | △190 | — |
| 増減率(%) | △4.0 | △30.5 | △42.3 | △63.6 | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期) | 20,025 | 1,143 | 856 | 388 | 6.41 |

平成 22 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 21 年 4 月 1 日 ~ 平 成 22 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 37,710 | 1,670 | 1,110 | 460 | 7.58 |
| 今回発表予想(B) | 36,730 | 1,260 | 730 | 190 | 3.13 |
| 増減額(B-A) | △980 | △410 | △380 | △270 | — |
| 増減率(%) | △2.6 | △24.6 | △34.2 | △58.7 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 38,864 | 2,003 | 1,513 | 555 | 9.16 |

平成 22 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 21 年 4 月 1 日 ~ 平 成 21 年 9 月 30 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|-------|-------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 8,720 | 630 | 520 | 310 | 5.10 |
| 今回発表予想(B) | 8,455 | 314 | 190 | 61 | 1.00 |
| 増減額(B-A) | △264 | △315 | △329 | △248 | — |
| 増減率(%) | △3.0 | △50.1 | △63.4 | △80.3 | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期) | 10,295 | 898 | 794 | 468 | 7.72 |

平成 22 年 3 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 21 年 4 月 1 日 ~ 平 成 22 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 16,940 | 1,180 | 880 | 520 | 8.56 |
| 今回発表予想(B) | 16,550 | 740 | 430 | 170 | 2.80 |
| 増減額(B-A) | △390 | △440 | △450 | △350 | — |
| 増減率(%) | △2.3 | △37.3 | △51.1 | △67.3 | — |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 18,745 | 1,442 | 1,191 | 780 | 12.85 |

修正の理由

当社グループが展開する、運輸業を中核とする生活関連産業を取り巻く経済情勢は非常に厳しく、昨年後半からの急激な景気後退に伴う雇用情勢の悪化や個人消費の低迷の影響を強く受け、当初の想定以上に厳しい状況で推移しております。

運輸業におきましては、景気後退による影響のほか、本年4月からの高速道路料金のETC休日特別割引や新型インフルエンザの感染懸念等に伴う輸送人員の減少やICカード乗車券「PASPY(パスピー)」利用者の増加に伴うプリペイドカードとの売上計上方法の差異による影響が加わり、鉄・軌道事業、自動車事業とも当初予想に対し減収となる見込みであります。また、流通業、建設業におきましても、景気後退に伴う影響等を強く受け、売上高が当初予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、当社において、将来の長期安定経営の継続のため、非正規社員を正社員化する新しい職種別賃金制度ならびに新退職金制度(定年延長を含む)へ移行したことに伴う人件費の一時的な増加による影響等により、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見込みであります。さらに、四半期(当期)純利益につきましては、特別損失として投資有価証券評価損を計上する予定であります。

当社グループではこの状況に対応すべく、各部門において積極的な営業活動と徹底したコスト削減に取り組んでおりますが、現時点では、当初の業績予想(平成21年5月11日発表)の達成は困難と判断しております。

以上の理由により、連結、個別とも、売上高、営業利益、経常利益及び四半期(当期)純利益において平成22年3月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想を下方修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上